

3 今年度の研究内容

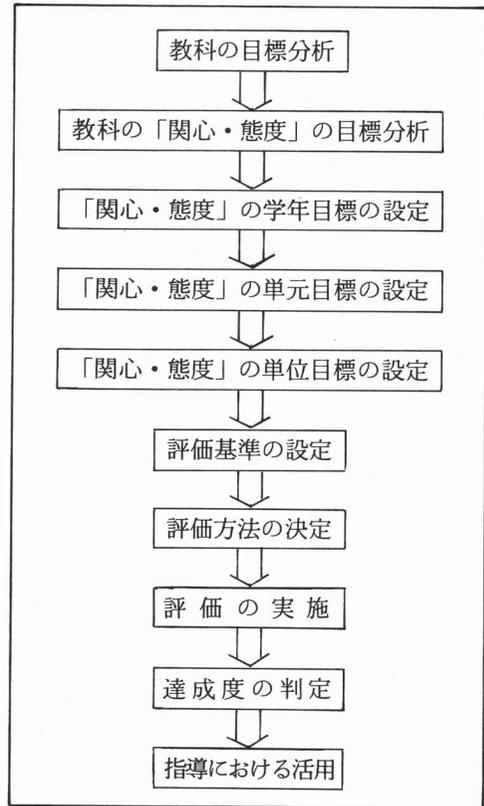
最終年次である今年度は、小学校国語科、中学校保健体育科の実践を通して、「国語に対する関心・態度」及び「運動・保健に対する関心・態度」の評価の研究に取り組んだ。

(1) 研究の方向

今年度は、新たな方向づけとして特に次の2点を考慮した。

- ① 評価段階の設定について前述したように、60年度は2段階で実施した。しかし、単位時間での評価が、学期、学年へと長期的に「関心・態度」を高めることの基盤であり、その積み重ねが長期的な評価につながるものと考え、(+)、(0)、(-)の3段階で行うことにした。
- ② 今年度の研究は、これまでの研究の方法を継続しながらも、更にこれまで課題とされてきた、中・長期的にわたる評価への方向として、単位時間ごとに児童生徒に自己評価と感想文を書かせ、それを評価の資料として研究をすることで、単元にわたって情意面の変容をとらえる試みもした。

(3) 「関心・態度」の評価の手順



(2) 研究の手順

